

## 第9回全国女性フォーラム香川大会に参加して

少し花冷えのする4月10日まぜまぜの天候に恵まれて、四国内ということもあり私達女性部会員10名は法人会全国女性フォーラム香川大会に出席しました。朝10時出発で塩江街道、素晴らしい山桜や満開の木連の花に感動しながら2時間弱で会場のサンポートホール高松に着きました。全国より約1600名の参加で大変混雑してましたが、午後2時開演で第一部が記念講演、第二部は3時30分より式典、第三部が懇親会で6時頃終了でした。

先ず、香川大会のキャッチフレーズ「女性の強さと優しさは、空を超え、海を渡る～輝く子どもたちの未来と、地域社会の発展のために～」を読み上げ女性部会のスローガンを皆で唱和して記念講演です。講師は少林寺拳法グループ総裁の宗由貴様で演題「しなやかな人間関係」内容は多岐に渡ってのお話でしたが、そんな中で少林寺拳法では、唯蹴ったり叩いたりではなく、先ず心技で人を思いやる優しい心、礼儀・作法と生きる力・技、特に技を磨くには必ず相手がいる。相手の対応が良くないと技は磨けない、人を大切にする事、身体を動かす事、女性のパワーは強い、進化する力も強い、子供を産んで育てる力を、どうぞ地域社会に貢献して頑張ってくださいと結んだ。

第二部の式典では、主催者挨拶、来賓祝辞などがあり、大会宣言において、私たち女性部会は、「健全な納税者の団体」たる法人会の一員として、租税教育など税の啓発活動や社会貢献活動に日々積極的に取り組んでまいりました。特に小学生に対する租税教育活動である「税に関する絵はがきコンクール」は、年々着実にその実績を積み上げ、各地域の租税教育活動として定着してまいりました。一方、私たちを取り巻く社会環境は、震災からの復興、少子高齢化の進展、経済再生など難題が山積みしており、将来に対する不安は大きなものがあります。「女性の強さと優しさは、空を超え、海を渡る～輝く子どもたちの未来と、地域社会の発展のために～」香川県を代表する偉人「弘法大師 空海」は、全国を巡って様々な善行を施したと伝えられています。私たちもその思いを胸に、女性部会が手を取り合い、法人会活動を通じて更に社会に貢献し、日本のより良い未来を切り拓いていこうではありませんか。と宣言されました。

また、展示コーナーでは香川県下の各法人会活動報告がパネルで紹介され、「税に関する絵はがきコンクール」作品の優秀な絵はがきは力作ぞろいでした。

今回の大会をふまえ、阿波麻植法人会女性部会は、今年から実施する「税に関する絵はがきコンクール」に向けて大変参考になる機会となりました。そして、引き続き実施する「いちごプロジェクト」はノウハウを一段と充実させ、「小学生の税についての作文コンクール」（徳島県下独自開催）も租税教育の一環として継続させていきたい。

今後とも多くの皆様のご支援ご協力をよろしくお願い致します。

女性部会副部長 福永 隆子